

# 社会・地理歴史・公民における一人一台端末を活用した授業案

|                 |               |     |         |
|-----------------|---------------|-----|---------|
| 校種・学年<br>分野（科目） | 中学校・<br>歴史的分野 | 単元名 | 古代までの日本 |
|-----------------|---------------|-----|---------|

|   |   |                                  |
|---|---|----------------------------------|
| 育みたい社会的事象について<br>調べまとめる技能                         | 一人一台端末活用の効果                                       | 使用するアプリ                          |
| 【情報をまとめる技能】<br>・情報を受け手に向けた分かりやすさに留意して効果的な形式でまとめる。 | 単元のまとめとして、学習を振り返り、重要語句を共同編集することによって、知識の深まりが期待できる。 | Google workspace<br><br>Jamboard |

## ★一人一台端末を活用する場面

|       |   |   |
|-------|---|---|
| 授業の概要 | 単元のまとめに抑えておきたい重要用語を複数選択し、グループで分担したり、発表したりして知識の深まりにつなげる。   |   |
|       | 学習内容・活動   | 一人一台端末の活用ポイント   |
|       | <p>①単元を振り返って、重要語句（人物含む）を複数あげる。</p> <p>②グループで分担を決め、フレームの条件に従ってまとめる。</p> <p>③お互いに発表して、不足している内容がないか意見を出し合う。</p> <p>④フレームの条件をヒントにして、重要語句をクイズ形式で出し合う。</p> <p>⑤単元のまとめとして、「古代とはどのような時代と言えるか」、自分の言葉でまとめてみる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出来事や人物について、簡潔にポイントを入力する。</li> <li>・やや詳しい説明をして、内容が分かるようにする。</li> <li>・出来事や人物が与えた影響や他の出来事のつながりを入力する。</li> </ul> |

## ★使用する教材など

|                    |
|--------------------|
| Jamboard（ミニ歴史用語辞典） |
|--------------------|

①グループ内で分担を決める。

「歴史用語ミニ辞典」を協力して作ろう ～古代編～

歴史用語を3つの文で説明する「歴史用語ミニ辞典」を作ります。教科書の本文、コラムや注に書かれているところをよく読み、マーカーを引いてから取り組みましょう、用語は複数あるので、最初にグループで分担しましょう。

|  |        |        |      |      |         |      |
|--|--------|--------|------|------|---------|------|
|  | 班田収授法  | 弥生文化   | 大和朝廷 | 聖徳太子 | 壺田永年私財法 | 邪馬台国 |
|  | 白村江の戦い | 大化の改新  | 日本書紀 | 壬申の乱 | 縄文文化    | 国風文化 |
|  | 摂関政治   | 東大寺の大仏 | 大宝律令 | 平安京  | 平城京     |      |

②作成方法を説明する。

作り方

ここには、用語をタイトルとして入力します

ここには写真や地図をインターネットから検索して貼り付けます。  
上から4番目のアイコンをクリック（タップ）してみてください。

①出来事について、時間、場所、出来事のポイントを短く書きます。

②内容の説明を追加します。

③歴史上の意味、その後の歴史への影響などを書きます。

③作成したものを班内で発表し合ったり、クイズを出し合ったりします。

## 聖徳太子



- ① 日本最初の女性天皇である推古天皇が即位すると、593年に20歳の若さで天皇を助ける摂政となった指導者。
- ② 家柄に関係なく有能な人材を積極的に役人として採用する冠位十二階の制度や役人の心構えと国家の理想を示した十七条の憲法を定めた。
- ③ 隋に使者を送ること（遣隋使）で、隋の強大さを知り、日本が独立した国家として発展するためには、大陸から優れた技術や制度を取り入れる必要があることを知った。